

宇都宮市行政経営指針改定行動計画（平成17～21年度）

平成18年度実績

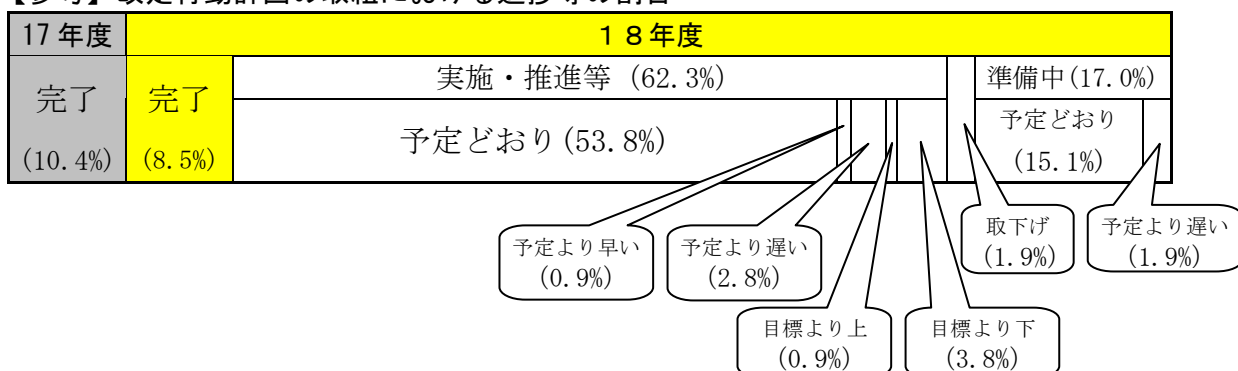
1 取組状況（総括）

計画に計上した72項目106取組のうち、平成18年度以降に取り組むこととした95取組については、全ての取組で実施、一部実施、準備、推進等の取り組みを行っている。

区 分		取 組 数		構 成 比	
			(内訳)		(内訳)
平成18年度に取り組んだ取組		95 取組		89.6%	
完了したもの 実施、推進等	完了したもの	9 取組		8.5%	
	実施、推進等	66 取組		62.3%	
	進捗・成果とも予定どおりのもの		57 取組		53.8%
	進捗				
	予定より早まっているもの		1 取組		0.9%
	予定より遅れているもの		3 取組		2.8%
	成果				
	目標を上回っているもの		1 取組		0.9%
	目標を下回っているもの		4 取組		3.8%
	準備中	18 取組		17.0%	
	進捗				
	予定どおりのもの		16 取組		15.1%
	予定より早まっているもの		0 取組		0.0%
	予定より遅れているもの		2 取組		1.9%
行動計画から取下げたもの		2 取組		1.9%	
平成17年度で完了した取組		11 取組		10.4%	
合 計		106 取組		100.0%	

※構成比は四捨五入のため、合計値と一致しない。

【参考】改定行動計画の取組における進捗等の割合



ア 完了した取組（９取組）

No.	取 組 （【 】内は実施状況）
1	選挙人名簿の閲覧の取扱いの見直し 【法改正で閲覧手続が明文化され、併せて閲覧事務マニュアルを作成】
3	携帯電話による市政情報の提供
1 9	田園環境保全・再生のための地域組織の設置 【土地改良事業終了に合わせ、モデル組織を設置】
2 8	自転車駐車場管理方法の見直し 【利用時間延長の要望に対し、２４時間駐車可能スペースを整備】
3 2－ 2	通送業務の外部委託の実施
3 2－ 7	ちとせ寮・松原荘給食調理業務の外部委託の実施
3 2－ 1 8	図書館資料搬送業務の外部委託の実施（市図書館と学校図書館の連携による子ども読書活動の推進） 【市図書館と各学校間の蔵書搬送業務を効率化するための外部委託実施】
4 6	学校事務システムの構築【学籍，就学援助事務等の正確性向上，迅速・効率化を図るため，教育委員会と各学校間にオンラインシステムを導入】
6 5	商工部・農務部の再編【２部の一元化により「経済部」を設置】

イ 予定より早まっている取組（１取組）

取 組	目標・実績
No. 1 8 「地域住民による不法投棄監視体制の確立」 （廃棄物対策課）	【目標】・１８年度末に計５地区で体制を整備 【実績】・新たに２地区（横川・瑞穂野）において体制を整備し，整備地区数が計７地区となった。 【対応】・スケジュールを前倒しして，残り４地区に監視体制整備を働きかけている。

ウ 予定より遅れている取組（５取組）

取 組	目標・実績・対応
No. 2 2 「内部管理システムの連携強化」 （行政経営課）	【目標】・新内部管理システムの実施（試行） 【実績】・基本計画策定に時間がかかり，予算編成システムの開発着手が１９年度からとなった。 【対応】・システム開発部会で予算編成・旅費計算・給与計算等の各システムの検討・開発作業を行っている。
No. 2 9 「ＩＳＯ９００１の活用」 （企業総務課）	【目標】・ＩＳＯ９００１の考え方の，上下水道局としての活用方針の策定 【実績】・事務改善研修は実施したが，局全体としての活用方針は検討段階 【対応】・引き続き検討しており，１９年度中に方向性を確定させる。
No. 3 3－ 3 「みずほの自然の森公園への指定管理者制度の導入」 （公園緑地課）	【目標】・２０年度に指定管理者制度導入 【実績】・公園全体の管理運営について，市民協働による公園管理手法を検討 【対応】・指定管理者制度導入の目標年次を見直したうえで，ＮＰＯが管理運営ノウハウを蓄積できるよう，管理業務の一部を委託している。

(つづき)

取 組	目 標 ・ 実 績 ・ 対 応
No.4 5 「下水道台帳管理システムの構築」 (工事受付センター)	【目標】・20年度に一部運用開始 【実績】・システム化対象データ整理や関係調査は順調に進んだが、導入後の運用計画の検討に時間を要したため、予定より遅れている。 【対応】・具体的な検討を更に進めている。
No.50-2 「公共建築物の長寿命化の推進」 (建築保全課)	【目標】・21年度に対象棟数計画作成率100% 【実績】・施設劣化診断は予定どおりに進んでいるが、修繕計画の対象範囲を拡大して詳細な計画を作成することとしたため、計画作成作業が遅れている。 【対応】・計画保全支援システム(ソフト)の一部見直しを行い、取組のスピードアップを図っている。

エ 成果が目標を上回っている取組(1取組)

取 組	目 標 ・ 実 績 ・ 対 応
No.6 4 「定員管理の適正化」 (人事課)	【目標】・19年度当初の目標職員数：3,500人 (旧宇都宮市の定員適正化計画の数値) 【実績】・旧宇都宮市の職員数：3,460人 【対応】・市町合併後の定員適正化計画を作成しており、引き続き定員の適正化を推進していく。

オ 成果が目標を下回っている取組(4取組)

取 組	目 標 ・ 実 績 ・ 対 応
No.58-4 「介護保険料の収納率の向上」 (高齢福祉課)	【収納対策に係る取組の共通目標】 ・収納率の向上：前年度を上回る収納率の確保 ・収入未済額(滞納繰越額)の縮減：対前年度比でマイナス 【実績】 ・「介護保険料」については、収納率は前年度を上回っているものの、収入未済額が増加した。 ・「保育費扶養者負担金等」、「住宅使用料」、「奨学金」は、いずれの目標も達成できなかった。 【対応】 ・市税等収納対策本部により、全庁を挙げて収納率向上に取り組んでいる。 (主な取組) ・インターネット公売の実施 ・栃木県との共同徴収 ・夜間収納窓口の開設 ・休日を含む訪問納付指導の強化 ・滞納者への行政サービス制限の実施 等
No.58-6 「保育費扶養者負担金収納率・母子寡婦福祉資金償還率の向上」 (児童福祉課)	
No.58-7 「住宅使用料収納率の向上」 (住宅課)	
No.58-8 「奨学金返還金の収納率の向上」 (教育企画課)	

2 取組の成果

(1) 主な取組の実績・成果

行政経営指針の方向性と 改革の柱		内 容
市民との協働の推進	①「信頼関係の構築」 に向けた改革 (取組No.1～5)	No.3「携帯電話による市政情報の提供」 (実績)・公式モバイルサイトを再構築し、最新情報の提供と希望者へのメール配信を実施した。 (成果)・手軽に最新の市政情報を得られる手段を提供できた。
	②「市民の持つ力の発揮」 に向けた改革 (取組No.6～13)	No.10-1「「もったいない運動」の推進」 (実績)・「もったいないホームページ」の開設や、My バッグ・My 箸の使用を呼びかける「マイMy 運動」の推進などにより、意識啓発活動を実施した。 (成果)・取組の周知活動を通じ、環境に対する意識向上が図られた。
	③「地域自治の確立」 に向けた改革 (取組No.14～21)	No.14「地区行政の推進」 (実績)・市町合併に伴い、「地域自治制度」を導入した。 (成果)・市民生活に密着した行政サービスの展開と地域の特性を生かした住民主体のまちづくりの推進を図る体制を整備し、地域における行政機能を強化した。
成果重視の行政経営	④常に最適なサービスを展開する「仕組み」の改革 (取組No.22～62)	No.32-17「学校給食調理業務の外部委託の推進」 (実績)・6校の学校給食調理業務を外部委託化した。 (成果)・サービスの維持・向上と経費の節減を図った。 No.33-2「霊園の管理手法の見直し」 (実績)・北山霊園に指定管理者制度を導入した。 (成果)・管理運営の効率化とサービスの向上を図った。 No.46「学校事務システムの構築」 (実績)・システム利用の定着化と市町合併に伴う拡張整備を実施した。 (成果)・就学援助事務における認定・支給までの期間短縮や事務の軽減を実現した。
	⑤時代の変化に挑戦し続ける「組織」の改革 (取組No.63～67)	No.65「商工部・農務部の再編」 (実績)・商工部・農務部の一元化を図り、「経済部」を設置した。 (成果)・産業経済全体の総合的な振興策の展開を図るとともに、産業構造の変化や新たな行政課題に迅速かつ柔軟に対応する業務体制を整備した。
	⑥能力と意識を高める「人」の改革 (取組No.68～72)	No.71「部局別職員育成計画の策定・実施」 (実績)・部門別研修方針に基づき、各部局が所属研修実施計画を策定した。 (成果)・所属における職場研修の充実強化を目指し、組織的な研修体制の確立を図った。

(2) 取組効果（数値で表せるもの）【実績，決算ベース】

ア 行動計画の取組による経費の節減

No.	取 組	金 額 (千円)
10-2	学校版もったいない運動の推進	△2,699
32-7	ちとせ寮・松原荘給食調理業務の外部委託の実施	△54,312
32-15	浄水場運転管理業務等の外部委託の実施	△1,983
32-17	学校給食調理業務の外部委託の推進	△45,953
32-18	図書館資料搬送業務の外部委託の実施	△6,269
33-2	霊園の管理手法の見直し	△34,238
36	交通災害共済制度の見直し	△5,398
46	学校事務システムの構築	△4,046
47	公用車保有台数の適正化	△28,278
51	補助金の整理・合理化	△318,824
61	第2次水道事業財政構造改革計画の推進	△516,923
62	下水道事業財政構造改革計画の推進	△659,460
合 計		△1,678,383

イ 18年度当初予算編成における経費の節減

(行政経営指針に基づく削減で，アを除く)

内部管理経費の削減，事務事業の見直しなど	△240,106千円
----------------------	------------

総計 ア+イ = △1,918,489千円

ウ 行動計画の取組による収入の増収

No.	取 組	金 額 (千円)
54	有料広告の掲載による財源の確保	3,790
57-1	未利用地の売払い	684,850
合 計		688,640

経費節減（増収）総計 = △2,607,129千円（ア～ウを合算）

※上記ウの増収額については，行動計画の取組による節減効果と同様に考えられるため，増収額を節減額として扱い，合算している。

【参考】これまでの経費節減（増収）額の推移

年 度	経費節減額 (千円)
平成15年度（決算）	△1,347,928
平成16年度（決算）	△2,064,207
平成17年度（決算）	△2,535,929

【参考】公共工事のコスト縮減

上記「経費の節減」の他に，下記の取組を行っている。

取組No.60「公共工事のコスト縮減の推進」	△215,484千円
------------------------	------------

（平成15年度実績を基準とした金額，貨幣換算の難しいものを除く）

エ 職員数

(平成19年4月1日現在 (前年同日比))

No.	取 組	人 数
32-5	総合案内業務の外部委託の実施	△2人
32-8	保育園給食調理業務の外部委託の推進	△2人
32-9	環境学習センター管理業務等の外部委託の実施	△2人
32-12	ごみ処理業務 (南清掃センター) の外部委託の実施	△37人
32-14	上下水道使用受付業務の外部委託の実施	△6人
32-15	浄水場運転管理業務等の外部委託の実施	△14人
32-16	処理場運転管理業務等の外部委託の実施	△11人
32-17	学校給食調理業務の外部委託の推進	△19人
47	公用車保有台数の適正化	△3人
合 計		△96人

※「地域自治センターの新設」など、新たな行政需要への対応に職員を増員したことから、実際の職員数は、73人の減少となった。

【参考】職員数の推移

(各年4月1日現在)

年	職員数 (全体)	対前年比
平成15年	3,743人	△65人
平成16年	3,660人	△83人
平成17年	3,615人	△45人
平成18年	3,533人 (旧1市2町合計 3,876人)	△82人 (—)
平成19年	(旧宇都宮市 3,460人) 3,792人	△73人 (△84人)

《参考》 19年度の取組効果（金額に表せるもの）【予算ベース】

1 行動計画の取組による経費の節減

No.	取 組	金 額 (千円)
32-5	総合案内業務の外部委託の実施	△10,950
32-6	ファミリーサポートセンター業務の外部委託の実施	△402
32-8	保育園給食調理業務の外部委託の推進	△4,927
32-9	環境学習センター管理業務等の外部委託の実施	△2,164
32-12	ごみ処理業務（南清掃センター）の外部委託の実施	△40,158
32-14	上下水道使用受付業務の外部委託の実施	△25,449
32-15	浄水場運転管理業務等の外部委託の実施	△49,174
32-16	処理場運転管理業務等の外部委託の実施	△50,839
32-17	学校給食調理業務の外部委託の推進	△42,235
33-2	霊園の管理手法の見直し	△7,971
37	高齢者サービスの見直し	△156,129
38	各種障がい者福祉サービスの受益者負担の見直し	△11,654
51	補助金の整理・合理化	△651,585
合 計 (ア)		△1,053,637

2 19年度当初予算編成における経費の節減（行政経営指針に基づく削減で、アを除く）

内部管理経費の削減，事務事業の見直しなど	(イ)	△331,492千円
----------------------	-----	------------

総計 ア+イ = △1,385,129千円

3 行動計画の取組による収入の増収

No.	取 組	金 額 (千円)
54	有料広告の掲載による財源の確保	14,182
57-1	未利用地の売払い	244,129
57-2	上下水道局における未利用地の売払い	33,012
合 計 (ウ)		291,323

経費節減（増収）総計 = △1,676,452千円（ア～ウを合算）